

令和4年度（2022年度）版

## 北海道における建設業の概況（概要版）

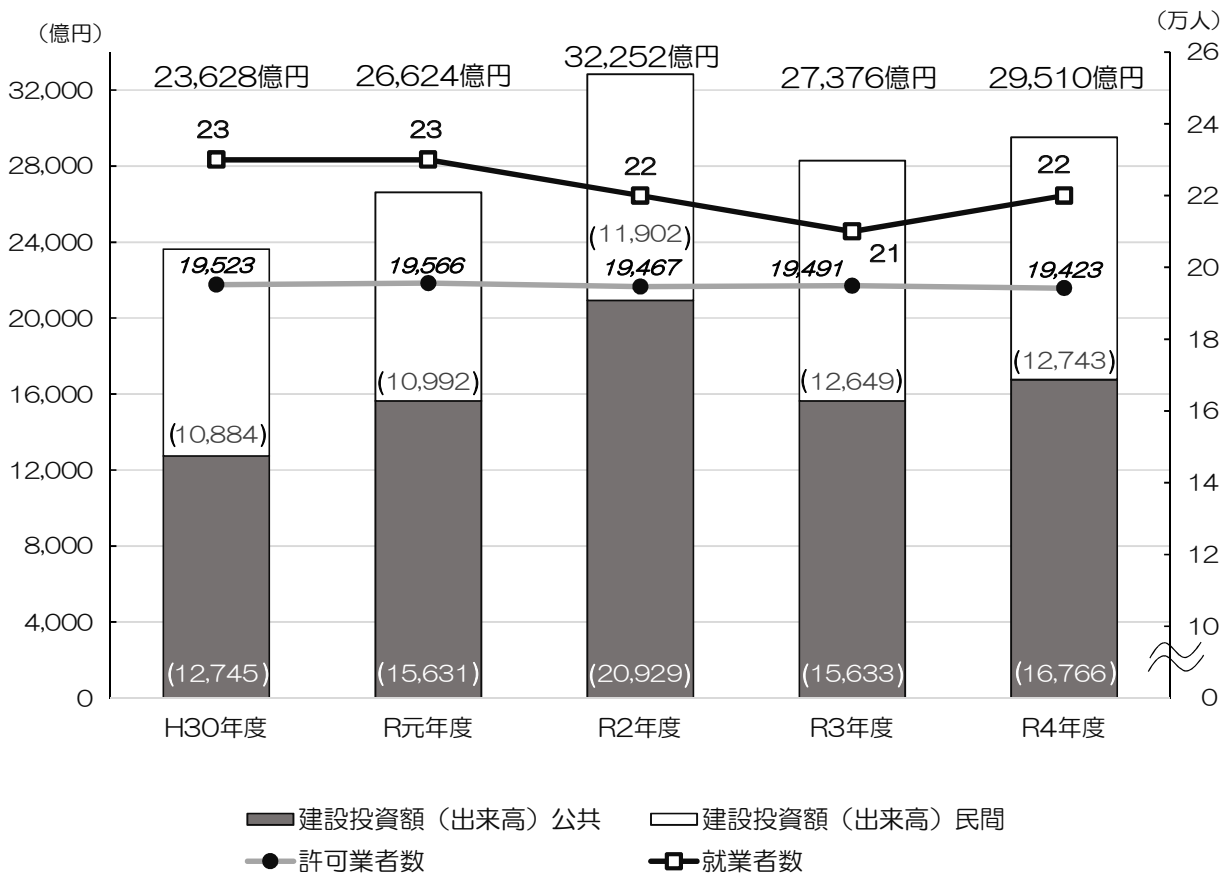
道では、本道建設業の現状を明らかにするため、建設業に関する各種資料及びデータを取りまとめ、平成27年から、「北海道における建設業の概況」を作成しており、この度、令和4年度（2022年度）版を作成しました。

## 1 建設投資額・許可業者数・就業者数の推移

令和4年度の道内の建設投資額（出来高）は、2兆9,510億円で、その内訳は、公共工事の建設投資額が1兆6,766億円（56.8%）で、民間工事の建設投資額が約1兆2,743億円（43.2%）となっています。

また、令和4年度の道内の許可業者数は、19,423業者で前年度に比べ減少しており、令和4年の建設業就業者数は22万人で前年と比べ増加しています。

建設投資額（出来高）・許可業者数・就業者数の推移（北海道）



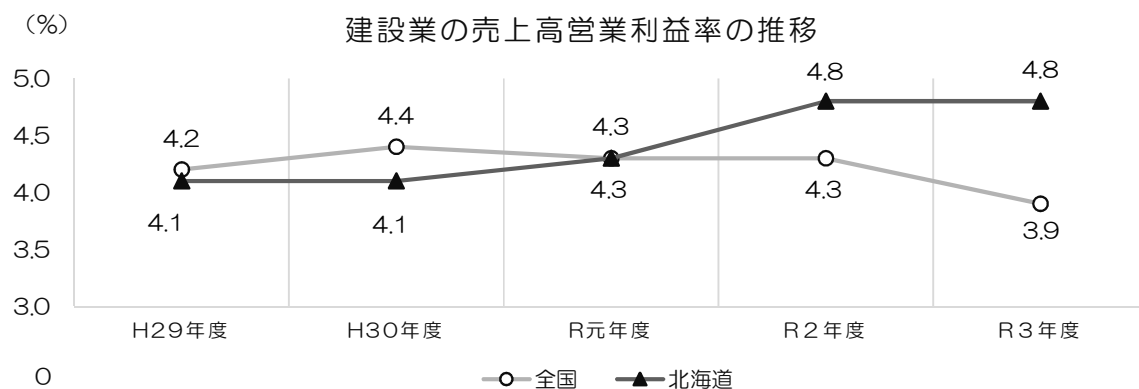
出典：国土交通省「建設総合統計年度報」

総務省「労働力調査」

北海道建設部建設政策局建設管理課調

## 2 建設業の売上高営業利益率の推移

令和3年度の道内建設業の売上高営業利益率は、4.8%となり、令和2年度と同様となっています。



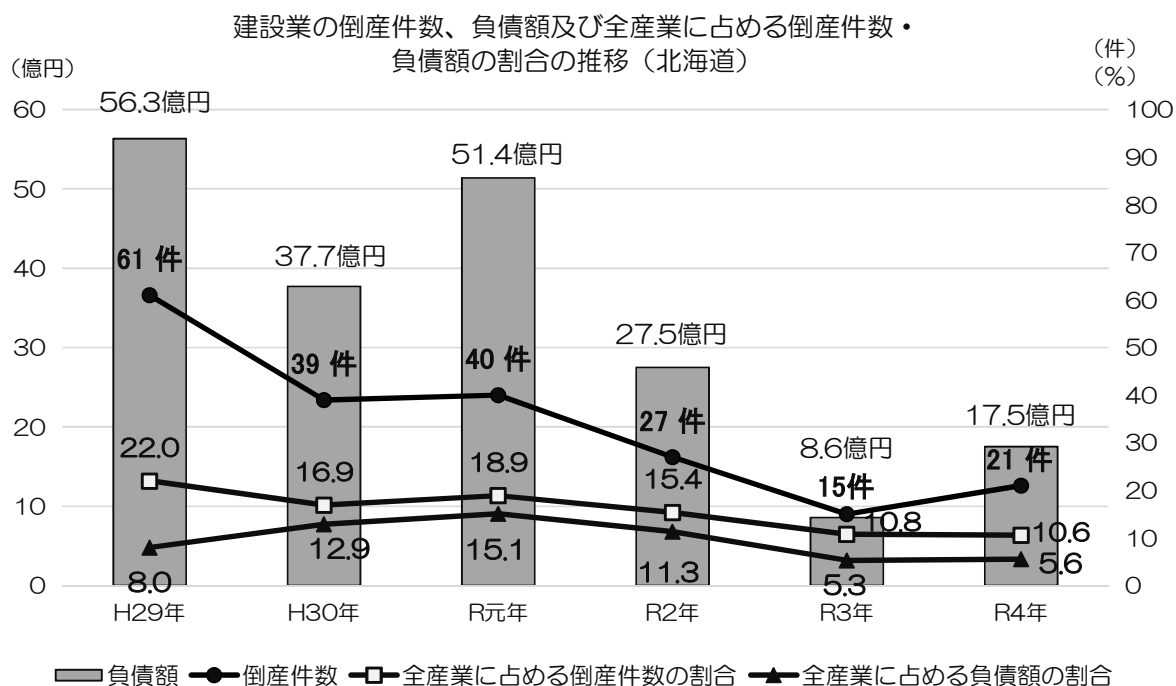
※売上高営業利益率 = 営業利益 / 売上高 × 100

出典：北海道建設業信用保証(株)調

## 3 建設業の倒産件数、負債額及び全産業に占める倒産件数・負債額の割合の推移

令和4年の道内における建設業の倒産件数は、21件、負債総額は、17.5億円となり、前年に比べ増加しています。

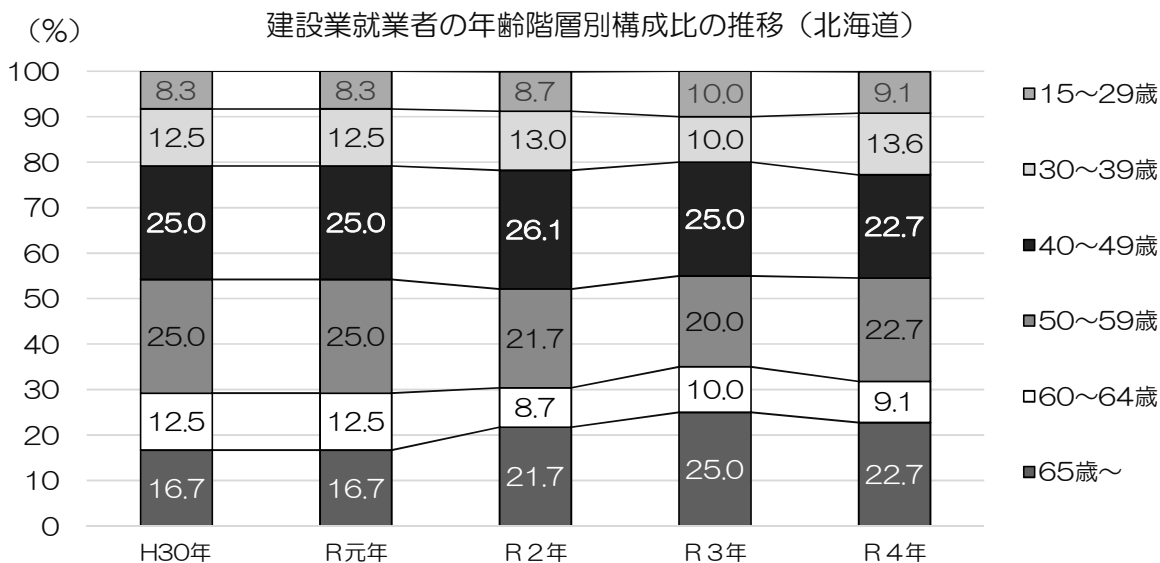
また、全産業に占める倒産件数の割合は、10.6%となり、前年に比べ減少しています。



出典：(株)東京リサーチ北海道支社

#### 4 建設業就業者の年齢階層別構成比の推移

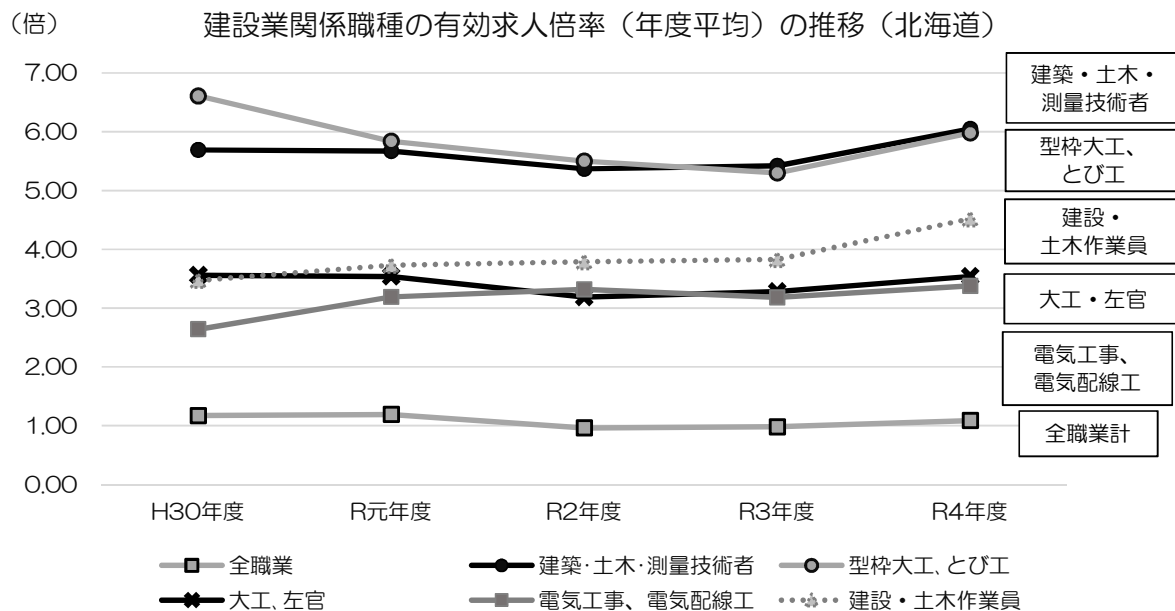
令和4年度の道内の年齢階層別構成比は、29歳以下の就業者が9.1%である一方、50歳以上の就業者が54.5%となり、就業者の高齢化が継続しています。



出典：総務省「労働力調査」

#### 5 建設業関係職種の有効求人倍率の推移

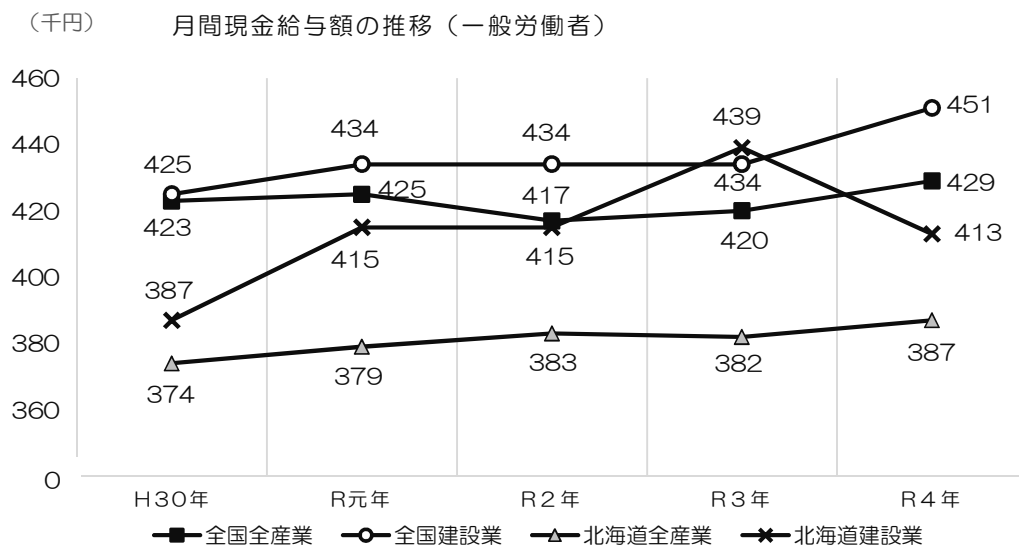
令和4年度の道内の建設業関係職種の有効求人倍率（年度平均）は、前年度に引き続き、「建築・土木・測量技術者」、「型枠大工、とび工」、「建設・土木作業員」、「大工・左官」、「電気工事、電気配線工」の建設業関係全ての職種で全職業計の有効求人倍率を上回っています。



出典：北海道労働局「レイバーレター」

## 6 月間現金給与額の推移

令和4年の建設業のパートタイムを除く一般労働者の月間現金給与額は、前年度に引き続き、道内の全産業を上回っています。また、全国全産業及び全国建設業と比べると、道内建設業の月間現金給与額は低くなっています。

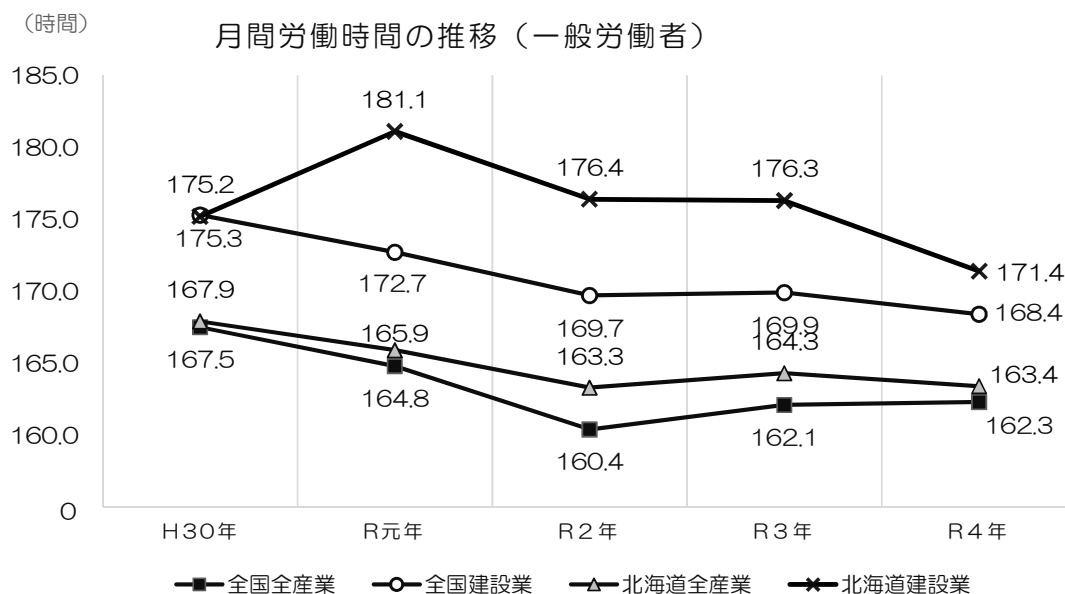


出典：全 国：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

北海道：北海道総合政策部情報統計局統計課「毎月勤労統計調査地方調査」

## 7 月間労働時間の推移

令和4年の建設業のパートタイムを除く一般労働者の月間労働時間は、前年度に引き続き、全国・道内ともに全産業を上回っています。また、全国建設業と比べると、道内建設業のパートタイムを除く一般労働者の月間労働時間は上回っています。



出典：全 国：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

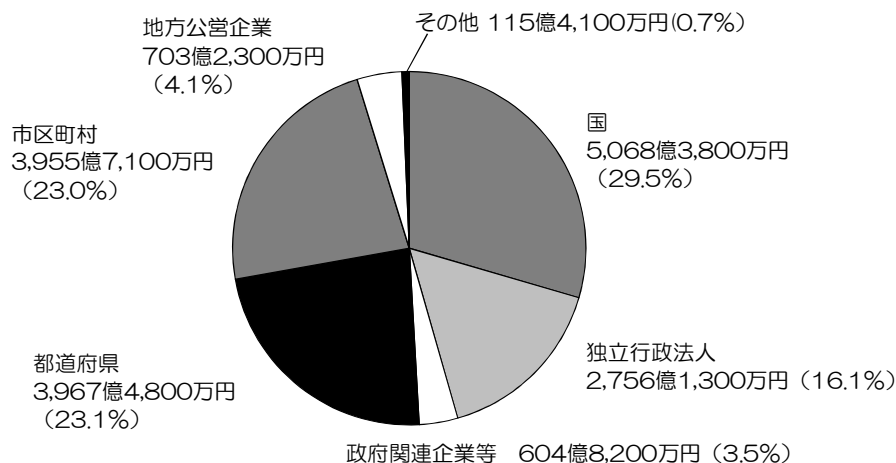
北海道：総合政策部情報統計局統計課「毎月勤労統計調査地方調査」

## 8 公共工事での発注者別請負契約額及び工事種類別請負契約額

令和4年度の道内の公共工事発注者別の請負契約額は、国が5,068億3,800万円（29.5%）と最も多く、次いで都道府県が3,967億4,800万円（23.1%）、市区町村が3,955億7,100万円（23.0%）となっています。

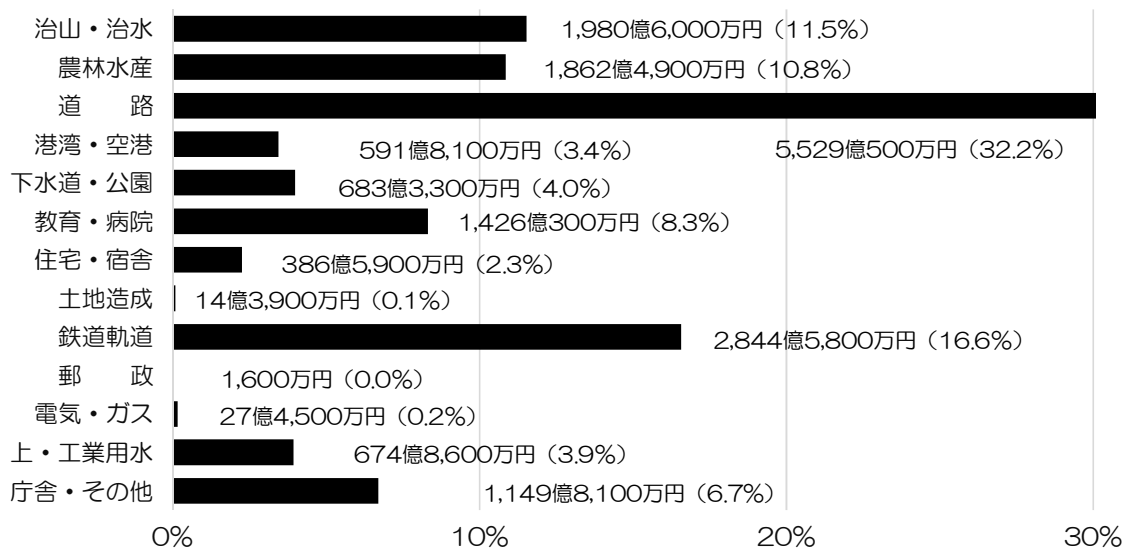
また、工事種類別の請負契約額は、道路が5,529億500万円（32.2%）と最も多く、次いで鉄道軌道が2,844億5,800万円（16.6%）、治山・治水が1,980億6,000万円（11.5%）、となっています。

発注者別請負契約額（北海道計 1兆7,171億1,700万円）



出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

工事種類別請負契約額（北海道計 1兆7,171億1,700万円）



出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」